

豊田地区

地 域 計 画 書

2021年 4月

豊田住民自治協議会

## 令和3年度 豊田住民自治協議会 豊田地区 地域計画書

### I 豊田地区の概要

#### 1 地域特性

##### 〔地理〕

- ①松阪市の北部、雲出川の南岸に位置し、田畑に囲まれ、農業を中心とした地区。
- ②豊田地区の西部には嬉野地域振興局や、嬉野福祉センター、嬉野保健センター、生涯学習センター、嬉野図書館、ふるさと会館・体育センター・嬉野グラウンドなど、嬉野の公共施設が集中して建設されている。
- ③川北地区には、三重県農業研究所もあり、農業についての研究も盛んに進められている。
- ④川北地区には、豊田小学校・豊田幼稚園・ひかり保育園があり、教育の中心になっている。
- ⑤川北・須賀には古墳や城跡があり、歴史的な趣がある地域。権現前には、式内須加神社がある。

##### 〔文化〕

- ①豊田地区は、川原木造・新屋庄・小村・川北・須賀・沢団地・嬉野・権現前の8自治会で構成。
- ②以前は各地区に連綿と伝わる季節毎の行事があり、それが地区内の結びつきを強固なものにしてきたが、経済活動や情報文化の発達が人々の生活習慣を変え、地区においては過去の文化的行事はほぼ無くなっているか、後継者不足から存続が危ぶまれているのが現状と思われる。  
そういった中で、「伝統文化で集う仲間が主体の地域づくり」を掲げ、あらゆる年代層が参加・参画でき共感し合える行事を実施している。
- ③人と人とのつながりを大切にし、思いやりの心を育て地域が一つにまとまり、行動できることをめざして活動している。

##### 〔行事〕

- ①地域振興部会「活気あふれるまちづくり」を目標に、毎年8月「山の日」に、豊田小学校運動場で「豊田夏まつり」を実施。また、豊田まちづくり協議会会報「くすのき通信」を発行している。
- ②福祉環境部会「心のふれあうまちづくり」を目標に、毎年10～11月に、三世代交流事業として松阪市嬉野グラウンドでグラウンドゴルフ大会を実施していたが、2020年度より「ふくし交流会」と名称を変え実施。また、9月の「敬老の日」に合わせて「敬老事業」を実施している。
- ③体育振興部会「健康あふれるまちづくり」を目標に、毎年9月第3土曜日には、豊田小学校と共催で「豊田小・地区民運動会」を実施している。
- ④防災安全部会「安心・安全のまちづくり」を目標に、例年「豊田地区防災訓練」を実施しているが豊田地区の避難場所となっている豊田小学校体育館・グラウンドにおいて、非常事態下での防災・避難訓練を行う必要が生じている。
- ⑤文化教育部会「生きがいあふれるまちづくり」を目標に、例年11月第1日曜日に豊田公民館で「豊田文化祭」を実施している。また、「地域の高齢者と園児との交流会」を実施し高齢者から「昔の遊び」を保育園・幼稚園児と一緒に楽しみながら「伝統文化の継承」を図っている。

⑥地域サポート部会「元気一杯のまちづくり」を目標に、当初は「まちづくり協議会の活動の手伝い」を手始めに「地域の簡単な困りごとの手伝いができる」ような方策を考えていきたい。現在は、地域の高齢者が作った地元野菜を嬉野文化祭の「嬉野物産展」や「豊田文化祭」で販売している。

⑦公民館部会「豊かな文化のまちづくり」を目標に、地域住民のニーズに応じた多様な講座や行事を通して主体的な学習と豊かな人格形成の育成に努める。また、関係諸機関や各種団体等との連携を蜜にし、地域社会の発展に努める。

⑧自治会部会「地域主体のまちづくり」を目標に、豊田地域の住民の連携と地域の課題解決のために行う活動を推進する。また、地域住民が安心安全な生活を送れるよう、関係諸機関との連携を図る

2 基礎データ【地区の年代別人口の推移】 2004～2020 過去15年間の推移

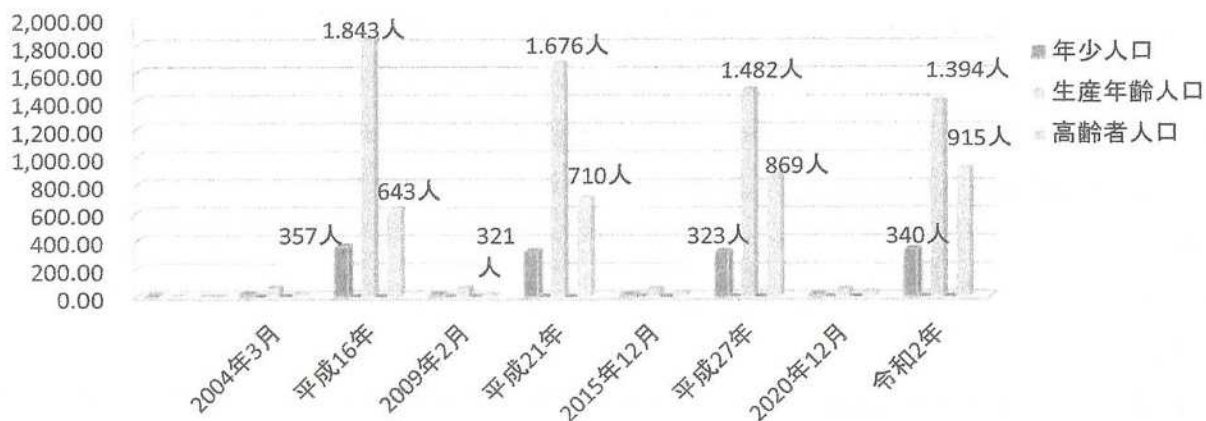
(表-1)

(小数点第2位以下四捨五入)

	豊田地区の人口	年少人口 【14歳以下】	生産年齢人口 【15歳～64歳】	高齢者人口 【65歳以上】
2004年3月 平成16年	2,843 人	12.6 % 357 人	64.8 % 1,843 人	22.6 % 643 人
2009年2月 平成21年	2,737 人	11.9 % 321 人	61.9 % 1,676 人	26.2 % 710 人
2015年12月 平成27年	2,674 人	12.1 % 323 人	55.4 % 1,482 人	32.5 % 869 人
2020年12月 令和2年	2,649 人	12.8 % 340 人	52.6 % 1,394 人	34.5 % 915 人

区

豊田地区の年齢構成



### 3 地域の主な課題

#### 1.人口・産業

- ①基礎データ(表-1)より、平成16年から16年間で人口が194人減少。14歳以下の年少人口は17人、15～64歳の生産年齢人口は449人減少しているが、65歳以上の高齢者人口は272人増加している。生産年齢人口の450人減少は、高齢者人口増270名に総人口の減少分190名を足したものに等しくなっている。単純に考えて、人口は減り高齢者が増加する傾向が今後も続くとなれば、20年後には生産年齢人口と高齢者人口が逆転し地域の活性が失われていくことになる。
- ②農業中心の地区であるが後継者不足から、農業の委託生産が進み農地の集約化も始まっている。また、農業の後継者不足と野菜など大規模生産地からの輸送などに押され、作物を作っても出荷が難しく耕作放棄地も増えてきている。里山・竹林は手入れがされずに荒れ放題のところも多い。
- ③仕事の都合上、他市にアパートを借りたり住宅を建てたりして住むなど若者の地域離れが進み、高齢者だけの家や空家となった家が増えており、防犯上懸念が生じている。高齢に伴って、通院や日常の移動に困る人も存在している。

#### 2.交通・安全

- ①県道やグリーンロード・23号線バイパスなどが通っていることで年々交通量が増え、子どもたちが登下校で使用する生活道路での交通事故が懸念される。通学歩道の設置が進んでいる箇所もあるが歩道の設置できない個所の改修が望まれる。

#### 3.災害対策

- ①小村地区や川原木造地区は、Ⅰ級河川「雲出川」の近く、もしくは、地盤が低いところであり、須賀・川北地区は、南海トラフ地震の時の津波が心配。近くに高い建物の避難所もない。

## Ⅱ 豊田地区の将来像

### 1 将来増の考え方

- ①豊田地区は伊勢平野の中央に位置し、田園風景が広がり自然豊かな地域。交通の便も良く、若者世代の定住が望まれる。また、昔ながらの美しい榎垣が残る集落や、嬉野地域振興局・生涯学習センター・ふるさと会館など行政の中心的建物が集中している地域でもある。公共施設を積極的に活用し、文化あふれるまちづくりを考えていく。
- ②嬉野グラウンド・嬉野体育センター、嬉野図書館などスポーツ・文化施設も集中している。スポーツ施設を積極的に活用した行事などを計画し、住民が健康で生活できる町づくりを目指していく。
- ③豊田地区の西端をJR東海名松線、中央を近畿日本鉄道宇治山田線が走り、近鉄伊勢中川駅・中原駅、JR権現前駅からは松阪駅までも近い。地の利を生かして若者の定住と高齢者のつながりを進めた福祉充実を考えたまちづくりをしていく。

- ④豊田地区南側にはグリーンロードが走り、国道23号線や中勢バイパスにもつながっている。交通の要所でもあり、地域の特産物や、遺跡文化などを市内外に発信をして、沢山の人が訪れるまちづくりをしていく。
- ⑤公民館講座やサークル活動を充実させ、地域住民の学習意欲の拡大と豊かな人格形成に寄与する。
- ⑥災害対策においては地区避難訓練を基に、災害時おける要援護者対策、避難者の生活の確保、情報伝達、災害ボランティアの養成、防災マップの作成、近隣との防災協定など進めていくことが必要。
- ⑦今後、益々増えていく高齢者対策が地域においても必要になってくるため、高齢者が地域で能動的・主体的に生活していける仕組みづくりを関係各所と協力して構築していく。

### III 地域のめざす姿

#### 1 地域の発展と情報が伝達できるまち(地域振興分野)

- ①イベントや地域での出来事などを知らせ、地域の中で風通しの良いまちづくりをする。「くすのき通信」を年3回から4回に発行する。

時代の変化に対応した、人材の育成と確保のため、組織や事業等のあり方を見直す。

#### 2 高齢者が健康で愉しく過ごせるまち(福祉環境分野)

- ①高齢者等の集える場の確保と、健康作りを推進し、笑い声の絶えないまちづくりをする。
- ②豊かな自然や景観の保全、ゴミの減量を推進し、美しいまちづくりをする。

#### 3 体を動かし健康作りと地域の絆づくりをする。(体育振興分野)

- ①地区民運動会を実施し、地区民の健康作りを図る。
- ②体を動かし、コミュニケーションを高め、地域の絆づくりをする。

#### 4 安全安心な地域防災活動のできるまち(防災安全分野)

- ①子どもたちや高齢者をはじめ、地域みんなで協力して犯罪や交通事故の無いまちづくりを目指す。
- ②いつ発生してもおかしくない地震の被害や、風水害の被害を最小限に止めるため、地域住民が力を合わせて、安心安全なまちづくりをめざす。

#### 5 世代間を越えた交流・連携ができるまち(文化教育分野)

- ①子供も大人も高齢者も、時と場所や方法に関わらずいつでも多様な文化や芸術に触れ、活動ができる。

#### 6 地域の人々がいきいきと活躍できるまちづくり(地域サポート分野)

- ①多様な知識や経験を持つ人が地域のなかで、それぞれの特性を生かして地域の活躍できるようなまちづくりを目指す。

#### 7 豊かな文化のまちづくり(公民館活動分野)

- ①生涯教育を推進して、世代を超えた交流を生み出し、コミュニケーションの活発なまちづくりをする。

## IV まちづくりの具体計画

### ■分野別の地域計画

#### (1) 活気あふれるまちづくり (実施主体 地域振興部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 人材の育成・確保	組織や事業等を見直すと共に、各部会が実施する事業等を通して地域づくりの新しいリーダーの発掘や育成を行なう。	自主	長期	令和3年	
2 広報誌の発行	イベント情報・地域の出来事等を広報誌を通して、住民に周知する。	自主	長期	令和3年	4回/年
3 地域の絆	8月(山の日)に、豊田小学校運動場で夏祭りの実施。	自主	長期	令和3年	
4 地域計画の策定	計画の進捗状況の確認と課題解決、次年度計画の策定	自主	長期	令和3年	

#### (2) 心のふれあうまちづくり (実施主体 福祉環境部会)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 ふくし交流会	地域の住民が、世代を超えて交流する。	自主	長期	令和3年	
2 敬老事業	地域の高齢者を敬い、健康な生活を応援する。	自主	長期	令和3年	
3 高齢者支援事業	地域の民生・児童委員と連携し、高齢者の生活改善や元気づくり事業を行う。近所の互助関係を深める。	自主	長期	令和3年	
4 挨拶運動の推進	地域ぐるみでの青少年育成事業の推進。『オアシス運動』の看板を地区集会所等に設置する。	自主	長期	令和3年	

(3) 健康あふれるまちづくり (実施主体 体育振興部会)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 体力づくり事業	地域の住民が地区民運動会等を通して、体力づくりをする。地域の親睦を深める。	自主	長期	令和3年	
2 健康づくり事業	文化祭において体育・健康に関連する事業を行う。	自主	長期	令和3年	
3 健康講演会事業	地域の住民が健康についての講演を聴き、自分の健康について考える一助とする。	自主	長期	令和3年	

(4) 安全・安心のまちづくり (実施主体 防災安全部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 防災訓練事業	地域住民が防災訓練に参加し、防災に対する意識を高める。避難所運営訓練を継続して実施する。	自主	長期	令和3年	
2 防災・防犯の徹底	防災・防犯の啓発活動を推進する	自主	長期	令和3年	
3 交通事故撲滅運動の継続	高齢者・幼児・児童・生徒の安全確保につとめる。	自主	長期	令和3年	

(5) 生きがいあふれるまちづくり (実施主体 文化教育部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 文化祭事業	地域の住民が公民館に集まり、文化祭（作品展示・ゲーム・即売など）のいろいろなイベントを通して、絆づくりをする。	自主	長期	令和3年	
2 地域の文化財の発掘	地域に残る文化財を調査し、公民館だより等で紹介をする。	自主	長期	令和3年	
3 地域の高齢者と園児との交流会	地域の高齢者と園児との交流会の実施。	自主	長期	令和3年	
4 子ども見守り事業	児童生徒の登下校時にパトロールを行う。交差点では安全指導を行う。	自主	長期	令和3年	

(6) 元気一杯のまちづくり (実施主体 地域サポート部)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 地域交流事業	夏まつりや文化祭等で農産物の販売などのイベントを通じて地域の活性化に働きかける。	自主	長期	令和3年	

(7) 豊かな文化のまちづくり (実施主体 公民館部会)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 公民館事業の拡充	地域住民のニーズに応じた学習活動や諸行事を通して公民館活動の充実を図る。	自主	長期	令和3年	
2 地域との連携	関係機関・各種団体との連携を密にし、地域社会の発展に努める。	自主	長期	令和3年	
3 育成会活動の推進	豊田地区健全育成会活動の推進を図る。	自主	長期	令和3年	



(8) 地域主体のまちづくり (実施主体 自治会部会)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 地域の連携	地区自治会間の情報交換を密にし、連携の維持・推進を図る。	自主	長期	令和3年	
2 安全の呼びかけ	不法投棄や安全パトロールなど、地域の安心・安全に繋がる活動の推進。	自主	長期	令和3年	
3 防犯灯・掲示板設置事業	イベント等の情報を掲示する掲示板の設置、防犯灯のLED化に助成。	自主	長期	令和3年	

(9) まちづくり事務 (実施主体 事務局)

事業名	事業内容	主体	スパン	予定時期	備考
1 事務経費	事務処理に必要な経費	自主	長期	令和3年	
2 会議費	会議に必要なお茶その他	自主	長期	令和3年	
3 備品購入費	まちづくり協議会の事業推進に必要な備品購入費	自主	長期	令和3年	
4 人件費	事務員の給与	自主	長期	令和3年	